

はじめに

鹿児島県の施設である鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（カピックセンター*
1）は大隅半島の高隈連山の麓、大隅湖の湖畔に位置しております。このような美しい自然に囲まれた環境で、平成6年4月の開設以来、国際理解教育、国際交流、国際協力関係の事業を展開して、広く県民の皆さまにグローバルな視野と知識を提供するための活動を実施してまいりました。

平成18年度からは指定管理者制度が導入され、その当初から2020年度まで15年間、青年海外協力隊経験者を中心に構成された「鹿児島国際交流協力センター*2」が管理運営を担ってまいりましたが、2021年度からは組織改編が行われて新設された「鹿児島国際交流促進センター*3」がその運営を引き継ぐことになりました。事業方針に大きな変更はなく、これまで同様に地域の方々と外国人との相互理解・友好親善を促進するための活動を行ないます。

2020年度は日本のみならず全世界において新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、全ての人々が生活や仕事、移動・行動に大きな制約を受けました。当センターでも海外学生や技術研修員など、外国人の来日を実現しなかったため、国際交流や国際協力のほとんどの事業が実施できませんでした。また、国際理解教育についても地域の小中高校からの来訪者が減ったことで、例年のように活発な活動はできませんでした。

このような困難な状況にあって、職員一同が知恵と工夫を絞り出して可能な限りの活動を行ってまいりました。それらを2020年度の事業実績として「鹿児島県アジア・太平洋農村研修センターのあゆみ」にまとめましたのでご高覧頂けたら幸いです。

これからの当センターの事業に対するご助言、ならびに引き続いてのご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

2021年3月31日

鹿児島国際交流協力センター
鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター
所長 児島 盛之

*1 カピックセンターは、鹿児島県アジア・太平洋農村研修センター（Kagoshima Asia Pacific Intercultural Countryside Center）の通称です。

*2 「鹿児島国際交流協力センター」は青年海外協力隊のOB・OGを中心に組織された青年海外協力隊鹿児島県OB会、公益社団法人青年海外協力協会、特定非営利活動法人九州海外協力協会の三者共同体の名称です。

*3 「鹿児島国際交流促進センター」は特定非営利活動法人九州海外協力協会と青年海外協力隊鹿児島県OB会が2021年4月に設立した二者共同体です。

— 目 次 —

I カピックセンターの利用状況

2020 年度利用状況	1
-------------	---

II 事業実績

1 鹿児島国際交流協力センター自主事業

(1) 国際交流・国際理解

グローバル塾	2
アクティブイングリッシュ授業	6
地域リーダー育成	6
世界とつながるイングリッシュキャンプ	7

(2) 国際協力

JICA 協力隊待機隊員研修	9
----------------	---

(3) 地域おこし

自然体験プログラム	11
カピックギャラリー	13
地域振興への協力	13

(4) 国際交流に関する情報提供

各種イベントでの情報提供	13
各種情報発信	13

【資料】

カピックセンター利用風景	14
カピックセンター利用実績	15
2020 年度 研修者（利用団体）	17
2020 年度 視察・見学者	19
2020 年度 自主事業「グローバル塾」実績	22
新聞記事	23